

日本光学会平成14年度第2回常任幹事会

日時：2002年11月15日（金）13:30~18:00

場所：応用物理学会新会議室

出席者：山本幹事長，以下13名

議事：

1. 前回幹事会議事録に関する質問事項

- ・前回議事録に関する質問はなく，議事録は承認された。

2. 報告事項

2-1. 編集委員会関連報告

(1) 「光学」編集報告

- ・「光学」の編集作業は順調に進捗している。
- ・出版経費の支払いが遅れているのは，日本学会事務センターからの請求が遅延したためである。日本学会事務センターへ2か月ごとに請求できるよう依頼した。

(2) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・投稿，掲載論文数等に関する報告がなされた。投稿は減少のみである。
- ・来年度は2つの特集企画を予定している（ODF 2002とBOPM 2002のspecial issue）。

2-2. 講演会関連報告

(1) Optics Japan 2002 結果報告

- ・472名が参加し，盛況であった。

(2) サマーセミナー収支決算報告

- ・収支について書類報告がなされた。

(3) 名古屋講演会進捗報告

- ・講演タイトルが決定し，プログラムをメール配布した。

(4) 北陸信越講演会進捗報告

- ・講演の順番が変更となった。開催告知をメールで行った。

(5) 冬期講習会進捗報告

- ・内諾を得ているので問題ないが，講師承諾書の受領が遅れている。
- ・11月15日現在で22名の申し込みがある。
- ・今後，ポスター，チラシ配布，メールによる案内を実施する。

2-3. その他報告事項

(1) 協賛依頼について

- ・7件の協賛依頼があり，すべて承認した。

(2) 会員動静

- ・24名減少した。これは，2年間の会費未納者を脱会させたためである。

(3) 光学論文賞進捗報告

- ・10月31日締め切りを11月11日まで延長し，8件の応募があった。
- ・副賞を1月の幹事会までに決定することになった。
- ・12月4日に選考委員会の開催を予定している。

(4) 「OPTICAL REVIEW」出版委員会のSpringer Verlagとの交渉経過報告

- ・電子出版の著作権をSpringerが有する等の不利な覚え書きであること，IPAPとの関係等から解消（場合によると改定）する方向で交渉中である。
- ・Springerからは，完全な解消は困るとの回答なので，12月にSpringerの担当と打ち合わせる予定。

(5) 新資料室について

- ・11月8日に撤去を行った。

(6) 将来計画委員会報告

- ・中間答申がなされた。
- ・講演会，セミナーなど個々の事業は充実しているが，新分野への進出など，全体の運営として方向性などが不明確である。そこで，企画・運営グループ活動を充実させる必要があるとの提案がされた。
- ・「OR」の投稿数拡大の対策が必要であるとの提案がなされた。

(7) ICO運営委員会からの報告

- ・光設計グループが企画するODFの収支について，相談があった。この件については，1月の幹事会で審議することにした。

3. 審議事項

(1) メーリングリストの使用について

- ・冬期講習会で，会員への案内に使うことが承認された。
- ・メーリングリストの取り扱いについて，再度幹事会で検討することになった。

(2) 光学シンポジウム募集要項ホームページ掲載について

- ・光学シンポジウム募集要項を日本光学会ホームページに掲載することが承認された。

(3) 「OPTICAL REVIEW」のSpringer Verlagとの覚え書きについて

- ・いったん，解消する方向で交渉することが承認された。

(4) 「OPTICAL REVIEW」出版委員会関連

- ・科学研究費補助金を今回は見合わせることにした。
- ・「OR」への投稿数拡大のため，投稿料の値下げを2003年1月より実施することとした。

- ・投稿勧誘キャンペーンとして、「光学」に綴じ込み記事を挿入することになった。

(5) 新資料室関連

- ・資料室・事務局問題の対策小委員会を設置することが承認された。
- ・日本光学会 news に新資料室の告知を行うことが決定された（第 32 巻第 1 号参照）。

(6) 幹事選挙について

- ・選考方針，投票用紙などの最終原稿が提示・報告された。
- ・幹事選挙の開票に際しての取り扱いが提示され承認された。

(7) 幹事選出方針提案について

- ・平成 16 年度以降の幹事選挙の方法についての提案がされた。
- ・方針を議論する幹事と実務を運営する幹事を区分するなどの提案がなされたが，将来計画委員会から提案された「企画・運営グループ」と重なることが多く，組織のあり方を含めて再検討することとなった。
- ・選挙方法を検討するための選挙運営ワーキンググループを幹事長をリーダーとして作ることが決定された（委員は幹事長一任）。

平成 14 年度日本光学会総会

平成 14 年度総会を下記のとおり行いますので，会員の皆様はご出席くださるようお願いいたします。

日 時： 2002 年 3 月 28 日（金） 13：00～13：40

場 所： 第 50 回応用物理学関係連合講演会会場

神奈川大学横浜キャンパス（横浜市神奈川区六角橋 3-27-1）7 号館 2 F-21 ZK 会場

第 168 回常任幹事会

2003 年 1 月 10 日（金）に機械振興会館地下 3 階，研修 1 号室において開催されました。「光学」，「OR」の編集委員会報告，Optics Japan 2002，カラーフォーラム JAPAN 2002，平成 14 年度関西講演会，平成 14 年度名古屋講演会の結果報告，光学シンポジウム，サマーセミナー，Optics Japan 2003 等の講演会関連の報告および審議，幹事選挙結果，光学論文賞結果，光学論文賞副賞，協賛依頼，会員動静，2003 年春季応用物理学会スクール B 公募案内，「OR」の出版委員会，環境改善委員会，産学協力検討委員会，日本光学会規則，光技術に関する産官学シンポジウムの協賛・メーリングリスト使用等について報告がなされ，「Optics Japan のあり方検討ワーキンググループ」の答申と今後の方策，次期幹事役職決定，予算案，平

成 15 年度活動計画，将来問題担当幹事委任，将来計画委員会，企画運営委員会，光計測シンポジウムの実行委員，韓国光学会（OSK）との協定の延長，光学資料室・事務局検討委員会，ICO-ODF 費用折半，選挙運営ワーキンググループ等について報告，審議がなされました。なお，詳しい幹事会議事録は第 32 巻第 5 号に掲載予定です。

第 207 回「光学」編集委員会

2003 年 1 月 9 日（木）に，（財）日本学会事務センター，学会共同編集室において開催されました。第 32 巻 9～10 号企画，第 32 巻 11～第 33 巻 2 号構想案について審議が行われました。また，飛び込み解説記事，投稿規定，執筆要項，平成 15 年度編集委員の推薦依頼等について審議がなされました。そのほか，各号進捗状況，論文投稿・審査状況，会計，幹事会等について報告がなされました。

平成 14 年度光学論文賞

平成 14 年度（第 44 回）光学論文賞は外林秀之氏（マサチューセッツ工科大学，通信総合研究所）ならびに渡辺歴氏（大阪大学大学院）が受賞されることになりました。受賞対象論文は次のとおりです。

外林秀之氏：

H. Sotobayashi, W. Chujo and K. Kitayama: “1.6-b/s/Hz 6.4-Tb/s QPSK-OCDM/WDM (4 OCDM×40 WDM×40 Gb/s) transmission experiment using optical hard thresholding,” IEEE Photon. Technol. Lett., **14**, No. 4 (2002) 555-557.

渡辺 歴氏：

W. Watanabe and K. Itoh: “Motion of bubble in solid by femtosecond laser pulses,” Opt. Express, **10**, No. 14 (2002) 603-608.

なお，授賞式および記念講演は下記のとおり行われます。

日 時： 2002 年 3 月 28 日（金）

日本光学会総会・論文賞授賞式 13：00～13：40

記念講演 13：40～15：00

場 所： 第 50 回応用物理学関係連合講演会会場

神奈川大学横浜キャンパス（横浜市神奈川区六角橋 3-27-1）7 号館 2 F-21 ZK 会場

第 2 回有機エレクトロニクス・バイオエレクトロニクス国際会議（M&BE 2）

日 時： 2003 年 3 月 5 日（水）～7 日（金）

場 所： 学士会館（〒101-8459 東京都千代田区神田錦町 3-28）

主催： 応用物理学会有機分子・バイオエレクトロニクス分科会

内容： 2001年3月に兵庫県の淡路島で開催された第1回に引き継ぎ、有機エレクトロニクス、バイオエレクトロニクスおよびバイオテクノロジーとナノテクノロジーと融合させた新しい分子エレクトロニクス・フォトリソグラフィに関する分野の最近の進展についての討論を行います。

個別セッション： 1. 作製評価技術、2. 有機エレクトロニクス、3. 有機フォトリソグラフィ、4. バイオエレクトロニクス、バイオアナリシス&ナノ材料、5. 分子スケールエレクトロニクス

実行委員長： 八瀬清志 (産総研)

招待講演者 (予定)： Dr. Tatsuya SHIMODA (SEIKO EPSON, Japan), Prof. Kazuhiko SEKI (Nagoya Univ., Japan), Prof. Yang YANG (UCLA, USA), Prof. Wolfgang KNOLL (Max-Planck Inst. for Polym. Res., Germany), Dr. Oksana OSTROVERKHOVA (Stanford Univ., USA), Prof. Michael STOWELL (Univ. of Colorado, Boulder, USA), Prof. Noboru KITAMURA (Hokkaido Univ., Japan), Dr. Larry. A. NAGAHARA (MOTOROLA, USA), Dr. Michael STEWART (Rice Univ., USA)

参加料： 一般 20,000円、学生 5,000円

問い合わせ先：

産業技術総合研究所機械システム研究部門 石田敬雄 (小島有美子)

〒305-8564 つくば市並木1-2-1

電話/Fax 0298-61-7844 E-mail: mbe2@m.aist.go.jp

京都工芸繊維大学繊維学部高分子学科 久保野敦史

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

電話 075-724-7855 Fax 075-724-7800

E-mail: akubono@ipc.kit.ac.jp

詳しくはM&BEホームページ (<http://annex.jsap.or.jp/support/division/MandBE/>) をご覧ください。

第31回光波センシング技術研究会

テーマ： 21世紀の光センシングをリードする光デバイス

日時： 2003年6月5, 6日

場所： 東京工業大学、東京・大岡山キャンパス100年記念館

主催： 応用物理学会・光波センシング技術研究会

21世紀に入り、光センシングには光波の特徴を最大限生かした極限技術の追求と、これまでの光センサーのさら

なる高性能化・高機能化が要求されています。とくに、本研究会では2002年ノーベル物理学賞に輝く小柴博士の研究グループから、光センサーの応用として、壮大なニュートリノの検出実験に関する招待講演をいただきます。この招待講演を柱に、21世紀の光センシングをリードする先端光デバイスについて、第一線で活躍する研究者の方々から最新の研究成果をご紹介します。光ファイバデバイスでは、FBGに加え、最近実用化されたフォトリソグラフィ結晶ファイバー、そして波長変換デバイスや液晶空間光変調器などを取り上げます。これらの光デバイスは光センサーのさらなる高性能化・高機能化をもたらすものと期待されています。これらの招待講演に加えて、本研究会では光センシングの基礎、材料、デバイス、光センサー応用領域の新しい適用分野・機器に関する発表を併せて募集いたしますので、是非ご投稿ください。

講演申込方法： アブストラクトを下記事務局までお送りください。A4判1~2頁を郵送、またはFax, E-mailで、1000文字以内。発表者名、共著者名、連絡先、電話、Fax, E-mailを記入のこと。

申込締切： 3月4日(火) 必着。

原稿締切： 5月9日(金) 必着。カメラレディ原稿A4判6~8頁。

参加費： 11,000円(論文集合含む)。

問合せ事務局：

光波センシング技術研究会事務局 福井峯朗

〒161-0033 東京都新宿区下落合3-17-42 (302)

連企画 電話 03-3950-1641 Fax 03-3565-7717

E-mail: fukui@poem.ocn.ne.jp

ホームページ： <http://jsap.or.jp/obutsu/branch/group.html>

近接場光学研究グループ、第12回研究討論会

日時： 2003年6月27(金)、28(土)

場所： 山梨大学情報メディア館多目的ホール (JR甲府駅徒歩18分またはバス5分)

主催： 応用物理学会分科会・日本光学会・近接場光学研究グループ

講演・討論内容： 一般講演、ショート講演、招待講演を予定。すぐれた講演には「近接場光学賞」贈呈。

参加費： 日本光学会員 2,000円、学生 500円、その他 5,000円

講演申込締切： 2003年5月16日(金)

申込先および問合せ先：

山梨大学工学部電気電子システム工学科 堀 裕和

〒 400-8511 甲府市武田 4-3-11
 電話 055-220-8676 Fax 055-220-8681
 E-mail: hirohori@es.yamanashi.ac.jp
 ホームページ: <http://www.esd.yamanashi.ac.jp/~sakulab/index.html>

訂正とお詫び

「光学」32巻2号「分光応答度計測技術」(pp.96-98)におきまして、文献14)の雑誌名に誤植がありました。お詫びいたしますとともに以下のように訂正いたします。
 (編集局)

誤) J. Appl. Phys. 正) Appl. Opt.

新入会員

個人

会員番号	氏名	所属
A 6103382	井場 拓巳	ウエスト電気(株)
6103383	前納 良昭	三洋マービック・メディア(株)
6103384	安次嶺勉成	アルパイン(株)
6103385	浦野 妙子	(株)東芝
6103386	糸長 誠	日本ビクター(株)
6103387	佐藤 知絵	(財)東京都医学研究機構
6103388	小島 良雄	日本ビクター(株)
6103389	萩原 俊幸	コニカ(株)
6103390	水島 哲郎	TDK(株)
6103391	岩崎 充志	慶應義塾大学

6103392	奥井 信博	慶應義塾大学
B 0026466	平尾 明子	(株)東芝
0049397	高 在権	Kosung Hi-Tech
0057007	鶴 和也	(株)東亜ブック
0057476	泉 裕友	富士通東日本デジタル・テクノロジー(株)
0058632	渡邊 裕幸	富士写真フイルム(株)
0060014	馬田 隆明	明石工業高等専門学校
0060021	桜井 修	クラリオン(株)
0060043	竹内 輝義	ニチアス(株)
0060067	中谷 桂	(株)情報機構
0060068	C. Gorecki	Laboratoire d'Optique P.M. Duffieux
0060102	阿部 裕司	日本製紙(株)
0060146	広井 典良	並木精密宝石(株)
0060176	吉田 弘樹	岐阜大学
0060194	森田 晋也	理化学研究所
0060245	斎藤 繁喜	東北大学
0060255	山東 悠介	筑波大学
0060336	寺瀬光一郎	花王(株)
0060505	古屋 克己	産業技術総合研究所

特別会員

会員番号	団体名
7100318	横河電機(株)
7100319	香川大学附属図書館

日本光学会 news の掲載申込み先:

〒305-8563 つくば市梅園 1-1-1 中央第3 産業技術総合研究所計測標準研究部門長さ計測科 平井亜紀子 電話 029-861-4283 Fax 029-861-4080 E-mail: a-hirai@aist.go.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成14年度幹事 (*常任幹事)

幹事長:	山本 公明* (オリンパス)	
副幹事長:	黒川 隆志* (農工大)	中島 啓幾 (早大)
前幹事長:	岩田 耕一 (大阪府大)	
庶務幹事:	塩川 孝紳* (ペンタックス)	川田 善正* (静岡大)
	大瀧 達朗* (ニコン)	田中 賢一* (明治大)
	竹ノ内弘和* (NTT)	塚田 由紀* (交通研)
	中井 武彦* (キャノン)	平井亜紀子* (産総研)
『光学』編集幹事:	岩井 俊昭* (北大)	三尾 典克 (東大)
	加藤 純一 (理研)	谷田 純 (阪大)
『OR』編集・出版幹事:	一岡 芳樹* (奈良高専)	豊岡 了 (埼玉大)
国際協力幹事:	山口 一郎 (理研)	石井 行弘 (能開大)
	大坪 順次 (静岡大)	
将来問題担当幹事:	志村 努 (東大)	岡 和彦 (北大)
企画・事業担当幹事:	黒川 隆志 (農工大)	梅田 倫弘 (農工大)
	野崎 昭俊 (コニカ)	仁科喜一郎 (リコー)
	木村 茂治 (日立)	篠原浩一郎 (富士ゼロックス)
	岩瀬扶佐子 (古河電工)	太田 淳 (奈良先端大)
	志村 啓 (日立ハイテクノロジーズ)	金子 寛彦 (東工大)
	相津 佳永 (室蘭工大)	佐藤 学 (山形大)
	野村 俊 (富山県立大)	鈴木 孝昌 (新潟大)
	庄司 一郎 (分子研)	西 壽巳 (大阪工業大)
	早崎 芳夫 (徳島大)	光永 正治 (熊本大)
